

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/04/01 ～2018/04/31 )

### 1. 勉学の状況

5/11に帰国予定なので留学も残すところ一週間と少しになりました。今考えるとこの8ヶ月間は本当にあつという間だったなあと感じます。

今回の報告書ではIntroduction to Finnish School Lifeの授業で面白いと感じた2つのことについて述べたいと思います。

#### ◎Introduction to Finnish School Life

この授業もとうとう終盤に入り、5月にある”Morning Assembly”という小学生に自国の文化を紹介するという発表会とプレゼンテーションのみとなりました。ここでは4月の授業で興味深いと思ったことを書きます。

1つ目は言語推測ゲームです。5-6人で自分と違う国の人とペアを作り、それぞれの言語で一文を考えるのですが、それを残りの人でどんな意味だったのかを推測するというゲームです。私はドイツ人・イタリア人・ベルギー人とペアを組んだのですが、驚くことに一つ一つの単語からお互いの言語の意味を予測することができていました。もちろん私を除いてですが(笑)もう一人の同じ授業を取っている日本人に話を聞いたのですが、全く同じ状況でした。いかに日本語がヨーロッパ系の言語から離れているかを改めて実感しました。オランダ語については英語とかなり似ていたので少しは予測することができました。この経験から、母語が第二言語に及ぼす影響についてより興味が湧いたので、進んで調べようと思います。

2つ目の興味深かったことは、実際に小学校で行われたという自己評価の方法についてです。その方法とは、生徒にある絵を配りその絵の中で自分がその分野においてどの位置にいるかをマグネットで示し、どうしてその位置にマグネットを置いたのかを他の人に説明するというものです。その絵には、山や大きな木、滝など様々な風景が書いてあり、その中に棒人間がいます。崖を登っている棒人間や滝から落ちている棒人間、ロケットに乗っている棒人間などかなりバリエーションが多かったです。そのため生徒は自分がどのような状況にいるのかを細かく分析できるのではないかと感じました。また、それを他人に説明することで論理的な思考や発信する力がつくと思うのでかなり良いアイデアだと思います。メタ認知することは学習する上でとても重要なことだと思うので、千葉大学で実習する際にはこのようなアイデアをこちらにおった形で適応しながら使えたらより良い授業ができるのではないかと思います。

### 2. 生活の状況

#### ◎ヨエンスーについて

かなり暖かくなってきており、10度付近になりました。毎月同じことを言っているような気がします。さらに日が伸びてきています。最近では朝3:00から薄っすら明るくなり始め、夜11:00くらいまで真っ暗にはなりません。11月とはまた違った意味で時間感覚が狂います。でも

夜は全く危なくないのでいいのかなとも思います（笑）

◎ ロシア

今月はロシアへ旅行しに行きました。フィンランドからフェリーで片道13時間くらいでつきます。今回の旅行で思ったのは、何と言っても物価の安さです。バス代が日本円で約40円くらいでした。現地ではロシア人の友達に案内してもらい、教会や美術館など行きました。エルミタール美術館に言ったのですが、なんと入館料が学生はただでした。そこでは本物のミイラなど見れたり、もともと王宮だった影響で豪華な装飾が見ることができたりと、かなり満足しました。もう一つとても印象に残っていることがあるのですが、地下鉄までの長いエスカレーターです。下に着くまで2.3分はかかったように思います。調べたところ、地下100mくらいあるそうです（笑）なんだかちか深くに吸い込まれていくような気分になります。総じてとても楽しい旅行になったので、また他の国に旅行に行きたいなと思います。

ながーいエスカレーター



エルミタージュ美術館

